

2017年8月7日

株式会社データビークル

ヤマハ発動機、データビークル「Data Diver」「Data Ferry」を グローバルビジネスにおける分析ツールとして テスト利用開始。

～現場が使えるデータサイエンスの実現に向けて～

株式会社データビークル（本社:東京都港区、代表取締役社長：油野達也）は、ヤマハ発動機株式会社がデータ分析ツールとして、「Data Diver（データダイバー）」「Data Ferry（データフェリー）」のトライアルを開始したことをお知らせします。

両製品は43万部発行のビジネス書のベストセラー「統計学は最強の学問である」の著者であり、データビークル副社長である西内啓がそのノウハウを詰め込んだ「現場が使える」データサイエンスツールです。従来、分析に使われてきたBI（ビジネスインテリジェンス）と呼ばれるグラフ描画ツールとは違い、データサイエンスに基づいた仮説（例：売上向上に影響する要素はなにか？）を短時間で探し、打ち手立案への貢献を実現します。

ヤマハ発動機ではグローバルビジネスにおいてデータサイエンスの普及と実践に着目しています。そこで短期間かつ低コストで習熟可能なデータサイエンスツール「Data Diver」、「Data Ferry」のテスト利用をすることとしました。

・データビークルについて：2014年11月にデータサイエンスツール専門会社として設立されたデータビークルは、「データサイエンスをみんなの手に」をキーワードに統計学もプログラム知識もなしで使えるデータサイエンスツールを開発、販売する企業です。

→ www.dtvcl.com

・Data Diverについて：統計学に関する知識や特殊な言語の習得が必要な従来のデータサイエンスツールと異なり簡易なユーザーインターフェースから経営課題を設定、日本語で分析結果を表示する機能を持つデータ分析ツールです。直感的な操作により短時間で繰り返し分析が可能です。

・Data Ferryについて：プログラム知識ゼロでもブロックを組み立てる感覚で分析の為にデータを変換、統合、計算できるツールです。「あのデータがあれば」「あの項目があれば」という分析時の発想を手元操作で反映することが可能です。

（※本文中の企業名、商品名は商標登録されております）

本リリースに関するお問合せ先: 株式会社データビークル

岩井 世知（イワイ セシル） TEL:03-6455-7754 FAX:03-6455-7764 E-mail: info@dtvcl.com